

平成28年度第3回愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議の開催結果

- 1 会議の名称 平成28年度第3回愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 平成29年2月28日（火曜日） 午後6時30分から午後7時45分まで
- 3 開催場所 南予地方局 7階 第1会議室
- 4 出席者 委員20名、オブザーバー1名、随行者8名、事務局8名 計37名
- 5 議題 (1) 救急医療分科会の結果報告について
(2) 救急患者調査結果の報告について
(3) 在宅医療等の現状報告について
(4) その他
- 6 内容（全部公開）
 - (1) 平成28年8月と10月に開催した救急医療分科会の概要と合意内容の説明及び意見交換。
 - (2) 再編後の宇和島地区病院群輪番制の3病院で平成28年12月と平成29年1月に実施した救急患者調査の結果報告及び意見交換。
 - (3) 宇和島圏域における在宅医療連携を中心とした在宅医療等の現状報告及び意見交換。
 - (4) 市立八幡浜総合病院の土曜日の救急受入休止に伴う宇和島徳洲会病院への搬送の経緯説明
ドクターヘリの運航に関する概要説明
- 7 主な意見等
 - (意見) 平成29年1月から宇和島地区の救急医療体制を再編したが、緩やかに移行していると思われる。
 - (意見) 救急患者数の推移については、今後も調査を継続して1年前の同時期との比較を行う必要がある。
 - (意見) 適正受診のためには、広報による啓発活動を引き続き行っていく必要がある。
 - (意見) 17時前に病院に電話したところ、当番病院を紹介されたことに憤慨していた住民がいたことから、救急に対応している時間帯についても広報したほうがよいのではないかと。
 - (意見) 調査結果では、来院形態で自力（walk-in）の人が7割を超えているが、救急車をタクシー代わりに使うと言われている時代としては、好ましいことではないかと。
 - (質問) 軽症患者が救急外来を受診することで、一般患者へのしわ寄せはないのか。
 - (意見) 一般外来で診療を行っている時間帯は、当然、しわ寄せがある。
また、救急搬送の4割は、軽症患者である。
 - (質問) 救急患者が休日（土日祭日）に集中しているのは、どういったことが原因か。
 - (意見) 平日に体調が悪くなった方が、仕事等の都合で受診せず（できず）休日に受診することが原因と考えられる。
 - (質問) 調査における「特に軽症」と「軽症」の違いは、何か。
 - (事務局) 特に軽症、軽症ともに「入院を要しないもの」で、特に軽症は「通院加療は要しないが
(回答) 医療処置（診察・投薬のみ）を要したもの」、軽症は「通院加療を要する傷病状態と認められたもの」である。

宇和島保健所
企画課 医療対策係
TEL：0895-28-6105
FAX：0895-24-6806

(施行注意) 会議資料を添付のうえ施行。